

# 責任重く待遇悪化

## 女性支援組織 パートや派遣の声紹介

# ！あきらめない！

### 長いパート6



「働く女性の悩みホント」規労働者が55%を占めた。イ之は、五月七日から十六日に実施され、道内を含む全国から二百六件の相談が寄せられた。相談者の内訳は、正社員・公務員が36%、パートや契約・派遣社員などの非正

企業の中で、責任が重くなる一方、待遇は悪くなる。パートや派遣など非正規労働者の現状が、女性労働者の支援組織「働く女性の全国ゼンター」(東京)が行った電話相談で浮き彫りになった。このほど札幌の集会で、相談結果を報告した同ゼンターの伊藤美智子代表は「再チャレンジ」「失業率の低下」と言われる一方、労働環境の悪化が進んでいる現状を知ってほしいと訴えた。

働く女性の悩みホント 規労働者が55%を占めた。イ之は、五月七日から十六日に実施され、道内を含む全国から二百六件の相談が寄せられた。相談者の内訳は、正社員・公務員が36%、パートや契約・派遣社員などの非正

## 契約更新盾に条件変更

件の不利益変更だ。非正規との掛け持ちが続き、生活で18%三番目に多かったのが戒の立たないという訴えもあつた。に対し、正規では7%にとどまった。労働時間が伸びても、正社員との賃金格差は埋まらなから十二時半の勤務時間を三十分五分に伸ばしている。社員は十分稼働され、十時にタイクエントを押しながら残業しと労働時間が一時間しか違わないのに、賃金が三分の一(天手入パート)、正社員が休みの土日に、正社員の家まで働いている「パート」の分まで働いている(高校非常勤がっていない)

藤代表は「パートから派遣、下げられ、気に入らなければ、決し罵詈雑言と労働者をモノよと、契約更新を盾に労働条件に置き換え、蹴り捨てる。その結果、敵対する必要のない立場の人たちが互いに、いじめやパワハラが横行していく」と分析する。以前は、パートは賃金が正社員に比べて低くても、労働待遇はよくなっていた。むしろ非正規と正規で相談内容に違いが自覚したのが労働条件だ。しかし、相談ではパートから「八時間勤務だったが、人手不足で毎日十二三時間同ゼンターは、今後も年三回のホントを多額けていく業務。時間外はサレヒス残業、有給休暇を取ると契約予定だ。同ゼンターのホントと、職場は荒れている」と報告する伊藤代表

伊藤代表は「非正規労働者」の戦力化、高齢化が進む一方、待遇はよくなっていない。むしろ非正規と正規で相談内容に違いが自覚したのが労働条件だ。しかし、相談ではパートから「八時間勤務だったが、人手不足で毎日十二三時間同ゼンターは、今後も年三回のホントを多額けていく業務。時間外はサレヒス残業、有給休暇を取ると契約予定だ。同ゼンターのホントと、職場は荒れている」と報告する伊藤代表